

～メキシコの新生児を救うために～

埼玉県 新生児用人工呼吸器メーカーによる貢献

国際協力機構(JICA)は1月26日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社メラン(埼玉県川口市、中根 伸一 代表取締役)が提案する「新生児人工呼吸管理改善に係る案件化調査」(メキシコ国)を採択しました。

メキシコでは5歳未満児死亡における新生児死亡の割合は53%(2015年)であり、日本(33%)と比して依然高い状況にあります。メラン社が行ったメキシコ国立周産期病院へのヒアリングによると、新生児集中治療室には現在5台のHFO(高頻度振動換気)人工呼吸器が配置されていますが顕著な老朽により使用機会が減少している状況を確認しました。

新生児治療では、症例に適した人工呼吸器の活用や適切な酸素量の調整による呼吸管理が、救命および後遺症に影響をもたらします。メラン社が製造するHFO人工呼吸器は医師からの信頼も厚く、日本国内の新生児集中治療室の90%に導入されています。本製品の活用を通じた医療技術向上や事業展開の可能性について現地調査を行います。



HFO人工呼吸器「ハミング Vue」



国立周産期病院

(Instituto Nacional de Perinatologia)

また、本調査では、長野県立こども病院の協力によるメキシコの新生児医療の現状確認や保健省との協議、医療関係者を本邦に招聘しての新生児医療現場の視察などを予定しています。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第2回分は昨年9月に公示し36件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査2016年度第2回公示の採択結果について

URL:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東京 市民参加協力第一課 千葉 理恵、稲澤 定

TEL 03-3485-7680 E-mail : Chiba.Rie.2@jica.go.jp, Inasawa.Sadaka@jica.go.jp